

ぶらネットこまき

<http://www.komakichiku.com/> (古牧地区住民自治協議会広報紙)



第129号
古牧だより通算222号



うれしい

たのしい

「ほんわか健康塾こまき」

感染防止対策を徹底しスタート



新型コロナウイルスの影響で中断していた福祉健康部主催の「ほんわか健康塾こまき」が9月4日(金)、開催についての独自基準や感染防止対策マニュアルを策定し防止対策を徹底して、古牧公民館で開かれました。「健康塾」を心待ちにする声がかえられてのスタートです。

参加者と応援隊(スタッフ)全員が手洗い、マスク着用、検温等の確認。「3密」を避けるため、参加者を2つのグループに分け隔週にするなどソーシャルディスタンスの確保に工夫をしました。

開塾式から途中で休憩を取りながらみっち

り1時間半のメニュー。参加された皆さんからは「楽しかった」「良かった」の声があがりました。

東和田区の丸山静枝さん(76)は、今回の開始を心待ちにしていた一人で、「足腰の衰えで転んだり、つまずいたりしているのがこの健康塾に来ていると少しずつでも健康維持できるのでうれしい」との事でした。スタッフの川端区の小林芳房さん(73)も「みんなと顔を合わせながら、足腰の弱い方、フレイル対策、認知症予防と健康長寿を目指してお気軽に参加してください」との事でした。

(福祉健康部)



古牧地区全戦没者追悼と非戦の祈り

9月27日（日）、南高田の「西光寺」で「古牧地区全戦没者追悼と非戦の祈り」が開催されました。

西光寺の境内には、過去の悲惨な戦争によって犠牲となられた皆さまを供養するため、慰霊碑が建立されております。

毎年9月27日に、古牧地区遺族会・古牧地区仏教会のご協力をいただきながら関係者参列のもと「古牧地区全戦没者慰霊祭」を開催してきましたが、本年度からは、これまでの戦没者追悼の趣旨に合わせて、戦争に関わった全ての人々の慰霊と世界の恒久平和を祈る集いとし、「古牧地区全戦没者追悼と非戦の祈り」として開催していくことになりました。



当日は、早朝よりの雨でしたが西光寺の本堂をお借りしての慰霊祭となり、古牧仏教会の皆さんにより読経をいただき、遺族会の皆さんをはじめ多くの方にご参拝をいただきました。（総務部会）



「悪疫退散」 コロナに負けるな

上高田 公民館と育成会

9月26日（土）、上高田の芋井神社秋祭り前夜祭にあわせて「悪疫退散」を願って花火が打ち上げられました。6分ほど小雨の夜空が彩られました。

コロナ禍のもとで様々な行事が中止を余儀なくされています。そんな中、上高田公民館と上高田育成会（小学校・中学校支部）は、一定の距離を保ちながらもみなさんが一体的に楽しめるようにと企画しました。

チラシで「ご自宅付近より芋井神社の方向を見上げてください」と案内がされるなど、「密」を避けるための対策がとられました。午後8時に打ち上げ開始。大輪の花火が咲き、打ち上げ音が響きました。花火が開くと「うお〜」などの歓声が上がりました。

『思いやり 乗せて信濃路 咲く笑顔』

令和2年度 交通安全住民集会



交通安全部では、毎年9月に交通事故防止活動として、古牧地区の主要な3交差点を会場に現地集会と街頭啓発活動を実施しています。西尾張部交差点が9月2日（水）、東和田交差点が9月9日（水）、上高田交差点が9月23日（水）でした。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各地区の参加者を減らして行いました。（交通安全部）

歴史探索

ぐるりおがまち

南高田区

とおせんぼ祭り

古牧郷土史研究会 山崎 仁

南高田で8月31日に「とおせんぼ祭り」が行われました。

この祭りは伊勢社境内で、毎年この時期に行われる火祭りで、200年続いている伝統行事です。伊勢社神社では、祭神として天照大御神を祀っております。

農家組合長、区長ほかの代表者が、祭殿で蝋燭（ローソク）に火を燈してから全員で参拝をして、午後8時に区長の太鼓の合図で松明（たいまつ）に火を燈して参道を進みました。

神様に、台風をとおせんぼしてもらい、また、農作物の虫除けと豊作を祈願する祭りです。

今年は特に、新型コロナウイルスの早期退散も祈願して行われました。例年ですと、100本もの松明が進む、幻想的な光景が現れます。今回の祭りはコロナ禍の関係で密を避けて、役員を中心に松明の数を減らして行われました。



昔は、各家毎に麦藁で大きな松明をつくり、神社に献上して盛大に行われていたそうです。遠く城山の高台から眼下に松明の明かりが見えて、素晴らしい光景であったと言われています。

この伝統ある祭りを区民と共に守り、そして継承して行く事が大切と感じた時間でした。

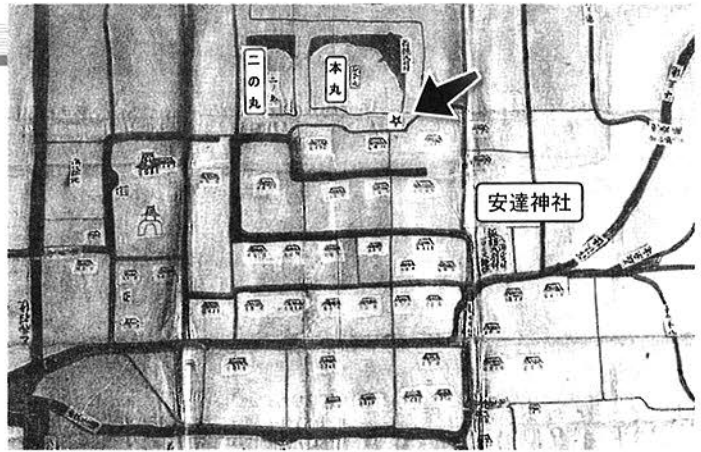
百聞は一見にしかず」南高田伊勢社の「とおせんぼ祭り」を見に来られてはいかがでしょうか。

平林村図の城跡図面

平林区

ぷらネットこまき128号に掲載しました歴史探索「ぐるりわがまち 平林城」の記事の中で紹介しました宝暦4年（1754年）の平林村図です。

矢印が写真（128号掲載）の「平林城跡」の碑があるところです。



10月から11月までの主な行事実施日のお知らせ

（多くの皆様の参加をお待ちしています）

事業名	実施日	場所	実施内容	主催
秋のごみゼロ運動	10月～	各区内		環境美化部
ふるさと文化芸能祭	11月3日	古牧公民館	今年は、作品展示だけを行います。	公民館部

しゃばえんびつ



私にとっての健康体操

新型コロナウイルスが収束していない中、自分のもっている免疫がいかに大切かということを感じています。私が現在行っている体操は自強術（じきょうじゅつ）、日本で最初の健康体操ですが、個人的にはこの免疫力を高める役割を持っているのが自強術ではないかと思っています。

自強術って何？ おそらく聞いたことがある人、ない人さまざまでしょうが、人間が持っている240あまりの関節を全部使う体操です。31のかたちからなる動きの中での深い呼吸法。姿勢を正しく、31のかたちからなる動き＝31動の動作を終わった後の満足感と爽快感！ 25分の体操が終わった後は、体の中の血流がよくなり、身体があたたまり顔が紅潮するのがわかります。このことにより、持病の脊柱管狭窄症のしびれが和らぐのを感じることができました。

私は現在も川端で自強術を続けていますが、免疫力が高まったと感じています。この自己満足が前向きな気持ちになり、これからどんなウイルスがきても撃退できる気がします。

（高橋 弥生）



古牧地区の世帯数と人口

令和2年9月1日現在

11,648 世帯

26,840 人

（男 13,249人 女 13,591人）

■発行所 古牧地区住民自治協議会
（電話259-8359・FAX219-1057）
（E-mail: komaki@vivid.ocn.ne.jp）

■発行者 小林 信男
■編集 ぷらネットこまき編集委員会
■印刷 (有)小池印刷



HP
ご覧ください